

ヴァイオリニストTAIRIKUの戯言

〔第14回〕

弦が揺れると、僕は季節の風になる

+ 文 佐田大陸 Text by Tairiku Sada +

「死ぬ時にはどうあがいても死ぬ。」

「添加物満点のカップラーメンだろうが、ジャンクフードだろうが、美味いもんは美味い。明日事故で死ぬかもしれないし、人様に迷惑をかけなければ、好きなものを食べて後悔のないように生きよう」

そう思っ生きてきました。

でもせっかく頂いた一度きりの人生、限られた時間の中で、より心の充実した日々を送りたいと思ったとき、高い集中力で最高のパフォーマンスを発揮したいと願うようになった今日の頃、己の欲求に忠実すぎる生き方も、「なんか違うかも」と感じる違和感。

祝日に、大きなフードコートを通りがかった時のこと。4人程座れる長い長方形の机はギチギチに敷き詰められ、席も通路も人で溢れかえっていました。そして目にしたのは、何百という家族連れの世帯が一斉に添加物満点のファストフードを笑顔で頬張っている光景。

それを見てなんとも背筋が冷たくなる感覚を覚えました。

「そりゃたまには食べたくなるし、俺も食べてるけど」と思いながら、国民

をバカにして政治を牛耳るというアメリカの秘密結社の陰謀論を思い出していました。他にもSports, Sex, Screenという3S政策を推奨して国民を愚かにしたこととか。本当かはさておき…。

また別の日に通勤電車の中で、睡眠不足でむくんだ顔にクマを作り、生気のない虚ろな目で下を向いてうなだれるスーツ姿の方々を見た時…運動不足を露呈した身体に、しょっぱいライメンの汁を満足げに飲み干す、下腹部がパンパンに膨れ上がった人を見たとき…

「これは未来の自分の姿だ…」と思いました。

「健康的な食事をして、ちゃんと睡眠時間をとって、適度な運動をしよう」

今さらこれを聞いて「なんて画期的な考え方だ！」と驚く人はいないでしょう。でも僕は「頭」では良いとわかっていても「心」でわかっていなかったんです。

僕の周りには、幸いなことに沢山の「尊敬できる凄い人達」がいます。そ

の人達を観察していて、共通して感じたことがあります。

それは皆が知っている当たり前だけど、皆がなかなかやれていない事を普通に通にやっているだけだということです。

そして自分の中に湧き上がる好奇心を決して見殺しにせず、小さなディテールの積み重ねが大きなことを為す、ということを知っているということです。

小さな第一歩が10年後の自分の未来を大きく変えると思っていて、まずは色とりどりの緑黄色野菜を摂ることから始めようと思えます。



profile

2010年3月に桐朋学園大学音楽学部大学院を修了。
2ヴァイオリンとピアノのアンサンブル・ユニット「TSUKEMEN」のヴァイオリニストリーダー。
2010年キングレコードからメジャーデビュー。
結成9年目にして450本以上の公演を海外や日本全国各地で開催、現在までにのべ35万人を動員している。